

名大阪大連合「第17回スーパーエイジサッカーin刈谷」O-70に初参戦

S38卒 柴田 正康

日本で最初のO-60の全国大会「スーパーエイジサッカーin刈谷」に、名大阪大連合を初結成して第10回大会に初出場以来、8回目の出場。今年は初めて70歳以上のカテゴリー(ロイヤルクラス)に、「名大阪大連合+東大LB+京大KIU」連合チームを結成して初出場しました。

従来も、O-70の方々は、ロイヤルクラスに出場していましたが、人数が少なく、主催者サイドで決める混合チームの一員として出場せざるを得ない状況でした。今年は、名大から丹羽、本田、柴田、阪大から西川幸、源内と、未だ60代でも戦える5人が、ロイヤルクラスに参入、この機会にロイヤルクラスでも名大阪大連合で出場を企画しました。事前意向調査の結果、名大阪大連合でのチーム編成は無理と判り、同時期同様に、ロイヤルクラス初出場を模索していた東大京大連合に、国立4大学(四帝)大連合を提案、受け入れられ、東大LB中島さんがキャプテン、柴田がマネージャーとして四校連合を結成、ロイヤルクラスへ初出場しました。

最年長は名高商S17福島さん88歳、80歳の東大LB折原(64名大コーチ)、京大KIU長井さん以下、東大5人、京大5人、阪大4人、名大4人、計18人で大会に臨む。



大会開始前 O-70 四校連合出場メンバー18人

試合前、孫のような名大現役トレーナー瀧本さんの指導で、入念なストレッチ。



西日本元老との第一試合に臨む。西日本OBサッカー連盟大会で度々対戦する勝手知ったる相手、70代前半の元気なメンバー。当方は、88歳の福島さんを先発に。



東大LB梅村さんの見事なゴールとGK名大丹羽のファインセーブで、3-1の快勝、緒戦を飾りました。

出場者24人の名大阪大連合60代は四十雀クラブ東京と対戦、スコアレスドロー。



名大阪大連合メンバーは宿舎(名鉄イン刈谷)に戻って、入浴後、同ホテル2F嘉門の懇親会へ。総勢36人の大宴会。阪S33真砂さんの乾杯で19時開宴、初参加の篠原、梶間、中山、松田、宇川さんの殊勝な挨拶、今日の試合結果に関するR西川幸、V川口キャプテンの講評、今年の名阪戦を巡る両校部長恵比須、山根、阪監督山脇さんの舌戦、以降は次々と飛入りの喋くり、21時名S36大西さんの音頭で中締め。

ロビーに戻れば、同宿の東大LB、関学中央連合軍が既に2次会の準備、別宿の京大KIU勢も合流、例年通り又も続く60人を優に超える大二次会。



明けて日曜日、四校連合は 11:30、関学中央連合軍と二日酔い合戦、関中元日本代表志治さんの陽動作戦に見事に引っ掛かり、2-5 で完敗。

V クラス名大阪大連合は、GK 篠原のスーパーセーブ連発で京大 KIU を完封し、1-0 で対京大初勝利。第 2 戦対岐阜サッカーOB 会は、人数の多さが災いし、コンビネーションの難を突かれて、0-2 で完敗。

出場者総数 42 人、初参加も多く、後期高齢者も 7 人、体調管理を心配した大会でしたが、幸い大怪我も無く、来年を約して少し痛い足を引き摺り、心満ちて家路に着きました。

有志は刈谷から 1 時間の我が家(国登録有形文化財)に場を遷して、反省会と称する第 3 次呑み会。18 時、来年のロイヤルクラスは U7(七帝連合)で出場しようとして有意義な決議をして、2 日間の楽しい会をお開きとしました。

